

研究所だより

第460号
2023年 7月18日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3015

“ 麦わら帽子は もう消えた 田んぼの蛙は もう消えた それでも待ってる 夏休み
姉さん先生 もういない きれいな先生 もういない それでも待ってる 夏休み
絵日記つけてた 夏休み 花火を買ってた 夏休み 指おり待ってた 夏休み
畑のトンボはどこ行った あの時逃がしてあげたのに ひとりで待ってた 夏休み
西瓜を食べてた 夏休み 水まきしたっけ 夏休み ひまわり 夕立 せみの声 ”



『夏休み』 1971年(昭和46年) 作詞・作曲 吉田 拓郎

懐かしい歌詞ですが、ご存じでしょうか？1971年にリリースされた吉田拓郎の『夏休み』です。

「ただひたすらに子どもだった時代の懐かしい夏の風景を描いた絵日記なのである。実在した鹿児島時代の“姉さん先生”も広島時代によく“とんぼ捕り”で遊んだ夏もすべてが僕を育ててくれた“夏休み”なのだ。あの“夏休み”が大人になった心の中で、今もやさしく生きている」と語っています。

本格的な夏の到来！ ～熱中症対策等を万全に！～

7月23日(日)は「大暑」(23日から立秋までの期間を大暑と呼ぶ場合もあります)。大暑は書いて字の如く、一年で最も暑くなる時期を指します。夏の土用の丑もこの頃です。いよいよ本格的な夏の到来です。

引き続き、基本的な感染防止対策並びに熱中症予防対策(水分補給・塩分補給・睡眠の確保・体調管理等)の徹底を心がけてお過ごしください。

☆第73次土佐清水市教育研究集会・一日教研のご案内☆

○期日：2023年 8月 2日(水)

○会場：土佐清水市立中央公民館・清水小学校・清水中学校

○日程：受付 8:45～ 9:00

1. 全体会

開会行事 9:00～ 9:30

講演 9:30～11:45

講師：塩田 真吾 准教授(静岡大学教育学部学校教育講座)

演題

『1人1台端末環境における情報活用能力としての情報モラル教育の指導法』

2. 部会研修 13:30～16:45

(会場：清水小・清水中・教育センター・ジョン万次郎史料館他)



「叱る」を考える・3

「指導と評価」6月号より

〔 発達障害のある児童生徒への指導について考える 〕

(文教大学特任准教授・公認心理士・臨床心理士

・特別支援教育士スーパーバイザー)

こしば たかこ
小柴 孝子さん

1 「叱る」側と「叱られる」側のすれ違い

筆者は研修講師として小中学校の先生方にお話をさせていただく機会があり、以前からその導入で、子どもたちを「叱る」と「躰(しつけ)る」の相違について考えてもらっています。どちらも「子どもの健やかな成長を願って、不適切な言動を注意する」という意味にとらえていることが多いのですが、語源を辞典で調べると、「叱る」は字のごとく「口で切りかかる」で「声を荒立てて咎める、叱責する」こと、「躰る」は「礼儀作法をその人の身につくように教え込むこと」で所作を含めた人格的な向上を目指す教えとなっています。ずいぶん意味が違います。

村中直人先生はご著書の中で、心理学的な知見から「叱るという行為は他者を変えようとする手段である」、脳科学の知見から「叱ることは脳の報酬系回路と関連し依存性がある」と説明しています(筆者まとめ)。つまり語源も含めた筆者の理解では、「相手に良かれと思って、改めたほうが良いと思う言動について強く指摘し、何度もくり返す(やめられなくなる)こと」が「叱る」という行為なのです。しかし「叱られる」側にとっては、強く指摘され一瞬はその言動を止めても、相手のありがたい意図を汲んで「自分の言動を改めてより良く社会に適應できるようにになりたい」とは思えず、それがくり返されれば恐怖にしかならないでしょう。

人は強い恐怖を感じたとき解離を起こし、自分のことではないようにぼんやりしたり、記憶が無くなったりすることがあります。これは苦痛から自分を守るための防衛反応で特別なことではありません。一方、「叱る」側は良かれと思っていますから、「こんなに相手のことを思って注意しているのに、何も聞いていない」と怒りがわいて、さらに脳が興奮し「怒る」(むらむらとこみ上げる激しい怒り)ことになります。これでは、どちらにとっても良い効果が得られないどころか関係が悪化してしまいます。



2 発達障害のある児童生徒の困り感

特に発達障害のある児童生徒は「叱られる・怒られる」ことが苦手です。一般的に大きな声に敏感に反応しやすし、相手の意図を理解することに困難があるからです。

例えば、視覚認知機能の発達に特性がありどんなに時間を費やしても学習の成果が上がらない子どもたちに「なんでこんな簡単なことができないの？ もっと頑張りなさい」と言っても、困るばかりです。前頭連合野のワーキングメモリ機能に起因して短期記憶が弱い子どもたちは「忘れ物をしてはいけません」と注意され、反省してはくり返すため、結局日常的に叱られてしまいます。また、運動連合野腹側部にあるとされるミラーニューロンの働き(仮説)に起因して社会的認知機能が弱い子どもたちは、先生に「相手の気持ちを考えなさい」と叱られても、想像力が弱いため言われている意味が分からず、パニックになってしまいます。

このように発達障害の特性のある児童生徒は、怠けているのでもわがままを言っているのでもありません。叱られても自分ではコントロールできずに困っているのです。

3 当事者から学んだこと

クラスの中で困っている、あるいは本人に自覚なく周りに迷惑をかけてしまう児童生徒にどのような声かけが効果的でしょうか？



筆者は2005年頃、発達障害の診断のある複数の小学生から大学生までのカウンセリングを担当していましたが、彼らは口をそろえて、「阿久津真矢先生の話し方がとても分かりやすい、こんな担任が良い!」と話してくれました。日テレ系のドラマ『女王の教室』の主人公の阿久津先生(天海祐希主演)は冷酷で独裁的な雰囲気子どもたちと対立しますが、子どもたちが確実に成長を遂げていく物語です。阿久津先生の話し方の特徴は、表情を変えずに淡々と現実を伝え、子どもたちに「自分で考えなさい」と言います。この揺るぎない表情・言葉・態度が、発達障害のある子どもたちにはとても分かりやすく伝わったのです。

相手の表情から意図を読み取ることが苦手な子どもたちにとって、平面な表情はよけいな情報を読み取る必要がなく、また、一貫した譲らない態度によって、迷うことなく先生の明瞭な言葉に集中できます。これが発達障害のある子どもたちの求める伝達様式なのではないでしょうか。私はこのことを多くの当事者から教わりました。

4 発達障害のある児童生徒に効果的な働きかけ

さて、現実的なレベルで考えてみましょう。学習や注意力に困難を示している子どもたちには、何ができないのか十分に観察・理解したうえで、通常、視力の弱い子どもが眼鏡をかけるように、弱点を補う提案をしましょう。さいわい、コロナ禍でタブレットが普及しましたので、ICT等を使った多様な工夫が考えられます。衝動性が強い、多動がある子どもたちには、彼らの失敗や不適切な言動を叱るのではなく無表情で受け流し、適切な言動ができたときに褒め、脳の報酬系回路に働きかけて望ましい言動を促進させましょう。クラスの中でコミュニケーションがうまくとれない子どもたちには、淡々と必要な情報を視覚的・聴覚的に明確に伝えましょう。その際に主語を入れ、誰が誰に何を伝えようとしているのかという観点を忘れないことが大切です。

ただし、被虐待により「愛着障害(反応性アタッチメント障害・脱抑制型対人交流障害)」の症状を呈した児童生徒にも発達障害と似た様子が見られることがあります。この場合は、「落ち着かせるために止めて、なだめて安心させる」ことが効果的です。発達障害は脳の認知機能に起因し、愛着障害は生育歴によるため、その児童生徒の言動の背景が全く違うことを理解しておくことが必要です。

最後に、指導する際、「叱る」「怒る」のではなく「又」を「口」に代え「怒す」(しなやかな思いやり)気持ちで明瞭に伝達することは、すべての児童生徒にも通じます。

*「怒す(ゆるす)」

.....
いじめや人間関係等を苦しんだ思いをしたり、自ら死を選ぶ子どもが後を絶ちません。また、この3年間の新型コロナウイルス感染症の影響下では、子どもたちの心の回復(ケア)を支援することは非常に重要です。今まさに想定外の危機管理が求められています。

まずは《さしすせそ》を基本に対応しましょう。

◇学校の危機管理《さしすせそ》!◇

- さ: 最悪のことを考える(最悪の事態を想定して)
- し: 慎重に
- す: 素早く
- せ: 誠実な対応
- そ: 組織が大事



お知らせ

教育センターには、DVD・書籍等数多く所蔵しております。ぜひご利用ください。

◇平和学習用DVD◇

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・「はとよ ひろしまの空を」(21分) ・「ヒロシマに一番電車が走った」(32分) ・「夏服の少女たち」(34分) ・「対馬丸ーさよなら沖縄ー」(75分) ・「消えさらぬ傷のあと 火の海・大阪」(20分) ・「地雷を踏んだ象『モーターの物語』」(24分) ・「にんげんをかえせ」(20分) ・「さとうきび畑」(11分) | <ul style="list-style-type: none"> ・「地球の風ぐるま
ヒロシマ・ナガサキに学ぶ」(32分) ・「予言」(42分) ・「戦争ー子どもたちの遺言」(53分) ・「増大する放射能」(22分) ・「おかあさんの木」(22分) ・「おこりじそう」(28分) |
|--|---|

◇教材・書籍◇

各出版社の教科書(小中)、低学年用のプログラミング教材、特別支援教育、人権教育、防災教育、環境教育など。

- ・「中学校 学級経営ハンドブック」 編著 鹿嶋真弓・吉本恭子 図書文化
- ・「不登校にしない先生・登校を支援できる先生」 編著 小林正幸・大熊雅士 明治図書
- ・「子どもへの気づきがつなぐ『チーム学校』スクールソーシャルワークの視点から」
編著 鈴木庸裕・佐々木千里・住友 剛 かもがわ出版
- ・「通常の学級担任がつくり個別の指導計画」 編著 廣瀬由美子・佐藤克敏 東洋館出版社

夏季休業中の予定

①第2回教研推進委員会

日時: 7月25日(火) 16:00~16:45
会場: 教育センター 会議室

②第2回転入教職員研修会

日時: 8月25日(金) 15:30~16:45
会場: 大岐福祉センター

③第2回あすなろネットワーク

日時: 8月28日(月) 15:30~
会場: 教育センター 会議室
内容: 講話 『保育・教育現場での子どもを取り巻く諸課題について』
講師 小松 宏暢さん(高知県スクールカウンセラー)



~ 教育センターは、夏季休業・閉庁期間中も運営しています ~